

巡礼者イニゴ

聖イグナチオ・デ・ロヨラの劇的な生涯の劇

塩谷恵策 SJ

(第六部 イスパニアでの勉学期)

56

第十九幕 第四場 (続き)

1524年1月

ヴェネツィアからジェノヴァへの道すがら

登場人物：巡礼者 イニゴ

フランス軍の兵士 E、F、G、H

フランス軍司令官

【語り】ジェノヴァへの旅をつづけ、フランス軍とスペイン軍の対峙する戦場へと入ったイニゴは、フランス軍の兵士につかまり、スパイの嫌疑をかけられ、厳しい取り調べが始まりました。

フランス軍兵士 G (小隊長)：確かに怪しい。徹底的に調べろ。少々手荒のことをしても白状させるんだ。フランソア、スペイン語が話せるそうだな？

フランソア：はっ。自分も少しは話しますが、バスク出身のジャックのほうがペラペラです。

小隊長：そうか、では、ジャック、君に任せる。泥を吐かせろ。

フランス軍の兵士 H (ジャック)：あなたはどこからきてどこへ行こうとしていたのですか？

イニゴ：ヴェネチアからジェノヴァへ行こうとしています。

小隊長：駄目、駄目、ジャック、女学生みたいな話し方じゃ！姫様と話してるんじゃないんだから。よし、俺が替わる。

(いきなりイニゴの向う脛を蹴る。イニゴは一瞬目をつぶるが黙って耐える。)

【黒い使いの合唱】 イニゴよイニゴ　　ざまあ見ろ　　神もお前を見捨てたぞ
いわれた通りの道行けば　　こんな目に合わずにすんだのに

イニゴ：(心の中で) イエス様も私たちのために捕らえられ、痛みをしのばれた。
ほんの少しでも同じ苦しみを受けられるなんて、幸せなことだ。

兵士E：オイ、これ以上痛い目に合いたくなかったら、正直に白状したほうが身のためだぞ。さっきから「知らぬ、存ぜぬ」を繰り返してばかりいるが、お前がイスパニア軍のスパイであることは知れてるんだ。

小隊長：確かにお前はスパイだ。暗くなるのを待って空き家からノコノコ出てきたのだから。みんなで手分けして、持ち物検査をしろ。敵軍あての手紙を持ってるかもしれん。

【語り】 イニゴのわずかな持ち物を入れた袋が取り上げられ中身が並べられます。

兵士F：手分けする必要などありません。こいつは祈りの本とノートとわずかな着替えと杖しか持っていません。

小隊長：袋でなく手紙を身に着けてるかもしれん。身ぐるみ剥いで、靴まで全部調べるんだ。

【語り】 しばらくの間イニゴは徹底的に全身を調べられましたが何も発見できず、シャツとズボンだけ着ることが許されました。

兵士E：小隊長、手紙など何も持っていないようです。

小隊長：そうか、強情な奴だ。スパイでもなければ、夜の戦場を一人で歩き回るわけがない。(考えあぐねたようにしばし黙っていた後、)
こうなったら、指揮官殿に直々問いただしていただくしかないな。指揮官宿舎に連れて行け。

イニゴ：寒いので、上着を着させてくれませんか？

兵士E(ジャック)：小隊長、上着を着たいといっています。

小隊長：スパイが何を言うか！そのまま連れて行け！逃がすんじゃないぞ。

【語り】一日中歩き詰めだったイニゴは、厳しい尋問の後、夜中に指揮官の住む家まで3つの通りを 引っ立てられていきました。

【黒い使いの合唱】

イニゴよイニゴ寒かろう？ イニゴよイニゴ ひもじかろう？
こんな苦しみ何になる？ 無駄骨折りというもんだ！

イニゴ：無駄どころか、主キリストのご受難に僅かでも与れるような気がする。
有難いことだ。

【白衣の天使の合唱】

ああイニゴ ^な 汝が求めおりし キリストの ^{ころもまと} 衣纏う日

今ぞ ^{きた} 来れる

慎みて感謝し受けよ

注 12

イニゴ：主キリストが 捕らえられ縛られて引き回されておられる様に見えるようだ。マンレサや聖地で経験した示現とは違うけれど、心に映る主のみ姿にあやかれる体験をさせていただけるとは なんとという恵みだろう。

【黒い使いの合唱】イニゴよイニゴ ふざけるな 恵みなんざあ ありやしない
拷問どころか スパイには 残酷な死刑が待っている

イニゴ：そうか。・・・スパイの濡れ衣を着せられて処刑されたりしたら全くの犬死だな。死刑だけは逃れたいものだ。いつも、誰に対しても「あなた」と呼ぶことにしているが、今度だけは、指揮官の心証をよくするために、「あなた」の代わりに「閣下」と呼ぶほうが得策かな？

【白衣の天使の合唱】

全能の 父なる神が なんじの死を 今望み給うや
汝の信 かばかりのものか 情けなし 怖じ惑うとは

イニゴ：そうだった。神がこの窮地から救ってくださるに違いない。どうして一

瞬といえども、神のご保護を差し置いて、人間的手段で切り抜けようなどと考えたのだろう。今回もいつもの通り「あなた」とだけ言おう。閣下と言ったり、帽子をとったり、敬意を表すしぐさなど一切するまい。

フランス軍の兵士F：おお、やっと着いたぞ。（イニゴを小突きながら）お前のおかげで夜中にこんなに歩かせられたわ！指揮官から嚴罰に処してもらえ。じゃあな、アバよ。

【語り】イニゴは指揮官の宿舎に連れ込まれ、尋問を受けるまで見張り付きで待機させられます。（続く）

注12 イグナチオは 靈操者が寛大な心をもって、神が望まれるならば受難の時にキリストが人々の救いのためにしのばれた苦しみを、自分も甘んじ受けることを望むよう導き、祈らせる。

「あなたへのより大いなる奉仕と賛美になりさえすれば、あらゆる蔑み、辱め、…を耐え忍び、その道においてあなたに従い習うことこそ、私が望み、切望し、熟慮の上で決定していることです。」[靈操 98；なお 146；147；167 も参照]